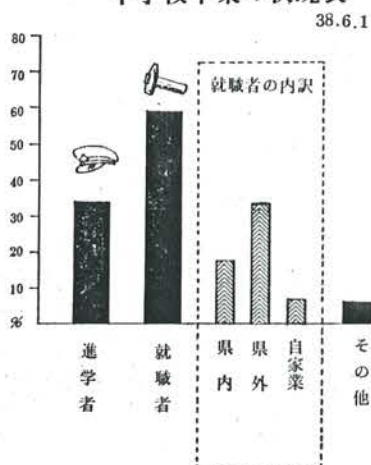


中学校卒業の状況表



中学校卒業後の
状況わかる
約6割が就職

大豊村の七中学校の卒業生の状況が、このほどまとまった。

別表でも示したとおり、卒業者は五百二十七名で内就職者は全体の約六割が占めている。

最近、農村に若い者が居なくなつたと嘆かれてゐるが、例にもれず卒業後自宅に残る者が約七割で、わずか三十八名程度のものである。

この傾向は、ここ数年変わりそうにもなく相変らず三ちやう農業が続けられずつである。このことは、高校卒業後の者で農業に従事し

てゐる者が極めて少ないことから一そう深刻なものである。

その証拠には、本年初め農業指導所と公民館がタイアップして部落長さんを通じ農業に従事している青少年の実態調査をやつた結果にも明らかに示されてゐる。

6月1日現在

311人		その他
外	自家業	
41	9	0
47	10	11

学校別の調べ

学校名	卒業者	進学者	就職者 311人			その他
			県内	県外	自家業	
大 杉	136	51	35	41	9	0
豊 永	112	33	11	47	10	11
大田口	85	44	15	23	2	1
東豊永	66	27	8	17	8	6
西 峯	53	12	10	19	1	11
穴 内	39	10	9	13	7	0
立 川	36	6	6	19	1	4
計	527	183	94	179	38	33

(注) その他は無駄および不詳の者。

役場人事異動発令

民生課長に松高氏

役場では六月一日付で職員的人事異動を次の通り発令した。

○内は旧職務

○西豊永支所長 重森元竜（民生課長）

○松高繁（西豊永支所長）

○東豊永支所分任出納員 松岡行雄（民生課長補佐、保健係長）

○東豊永支所分任出納員 松岡行雄（民生課長補佐、保健係長）

○寛孝（民生課長補佐、保健係長）

○総務課庶務係 前田集一（民生課主事）

○西岡仁（企画室主任主事）

○総務課税務係主任主事 三好元美（東豊永支所分任出納員）

○住民課主事 平尾美砂（総務課主事）

○総務課庶務係 立山美代（天坪支所主事）

○総務課 桑名啓三郎（総務課庶務係、桑名啓三郎（総務課主事）

○建設課 三谷浩生（建設課主事）

○総務課税務係 前田集一（民生課主事）

○企画室主事

事兼選學管理委員會 永野秀晴（西豐水支所主任 出納係員）○總務課庶務係 三出納係員（出納室主事）○公債室主事 大崎隆子（住民課課主事）○民生課厚生係主事 上村仁（總務課主事）○西豐水支所主任出納員 吉永豐次（總務課稅務係）○建設課勤務 吉村文男（總務課事務員）

報館
大豐

発行所
高知県長岡郡
大豊村中央公民館
電話杉55番
印刷 岩原印刷所

全戸無料配布

水稻・野菜

農作物の

被害対策について

イ
早
稲

根の発育および分けつの促進をはかるため極力浅水とし、ときどき落水し、なお掛け流しをさける。

また軽い中耕により根の発育を旺盛にする。

以下とし低温時に使用する薬剤は、なるべくMCPとし次にBPAがよい。

出穂後の早期落水は穂イモチ病発生の誘因となるので落水時期に注意する。

大豐農業指導所

- 1 排水をよくする
- 2 敷わらを厚くする
- 3 病害虫防除には
天敵の導入

自作農維持資金

最高80万円まで

借りられます

この金は当初中農以下
の零細農家の経済的救済処
置として発足したのである
が農基法の設立と同時に自立
農業育成のため当初の制限
策も除かれ広く農家に貸出
されることになりました。

◆取得資金
農地探草放牧地（自作、
小作地）購入の場合、最
高八十万円、利息は農業
構造改善事業実施地域四
分、実施以外は四分五厘
二十五年度の年賦償還で農
林漁業経営構造改善資金
の内に含まれることにな
る。

◆維持資金
相続、疾病、災害等。
相続とは被相続者に金

をやつて権利を放棄して
もらう。
疾病とは病氣によつて負
債を生じた際、
災害とは農産物、農用施
設に被害を生じた際、
これらの場合に、この資
金が借りられます。
貸付額最高三十万円、利
息年五分、二十年の年賦
元利均等償還ということ
になって居ります。
次に本年五月の長雨及び合
同二号による被害に於ては
災害資金が貸出されている見
込みですから早急に農業委
員会へ申込んで下さい。
員会その他詳細について委
員会へ直接お問合せ下さい。

昭和三十八年 水稻病虫害共同防除計画

水稲別	防除時期	対象病害虫	農薬名	一〇〇グラム当量	注意及び参考事項
早稲	四月中旬 六月	ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ	マラソン 粉剤	乳剤一・五％ 粉剤一・三％ 〇倍五〇〇—二・三％ 〇倍三六〇—三六〇	苗代防除のほか、畦畔及び 田等の防除も行う。乳剤 は気温の低い時濃度を濃くす る。
早稲	五月中旬 六月	ニカメイチュウ	EPN乳粉剤 バイジレットクス	乳剤一〇〇—〇倍 〇倍三六〇—三六〇 〇倍五〇〇—五〇〇	EPN使用の場合散布の時無 理せず中毒に注意。バイジレ クスは他の薬剤より殺虫期間 が短いので適期散布する。
中晩稲	五月中旬 六月上旬	ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ	マラソン 粉剤	乳剤五〇〇—一・〇％ 〇倍五〇〇—一・〇％ 〇倍二一三—二一三	苗代防除の外畦畔 其の他も 防除し気温の低い時は濃度 を濃くする。早稲本田の防除に も注意。
早稲	六月中旬下旬	枯病	モンゼット粉剤 アソジン粉剤	粉剤 三Kg	病勢進展初期散布 葉いち病併発の場合はマッ ツブレジット粉剤の散布もよ
中晩稲	六月中旬下旬	ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ	マラソン乳粉剤 EPN乳粉剤	乳剤一・〇〇〇—一・五％ 〇倍六〇〇—一・〇〇〇 〇倍一・五〇〇—一・〇〇〇 〇倍三六〇—三六〇	マラソン乳剤一・五％は温 度の低い時に乳剤一・〇〇 〇倍に使用する。濃度二〇 度以下に注意する。
早中晩稲	六月 七月下旬	葉いち病	有機水銀剤 ブラエスM	粉剤 三Kg	ブラエスM剤は他作物の葉害 に注意し散布時目に入らない 様に注意する。
早稲	七月上旬中旬	枯病	モンゼット アソジン 粉剤	粉剤 三Kg	紋枯病蔓延期散布、多発傾向 田及び穂いち病防除をかね ない場合はアソジン、モンゼ ット使用
早稲	七月中旬下旬	ツマグロヨコバイ	EPN乳粉剤	乳剤一・〇〇〇倍 粉剤三—四Kg	ツマグロヨコバイのみ対象の 場合はマラソン剤でもよい。
中晩稲	七月中旬 八月上旬	アワヨトウ ツマグロヨコバイ	同 右	同 右	同 右
中晩稲	八月中旬下旬	紋枯病	モンゼット アソジン 粉剤	粉剤三—四Kg	穂生期一面の散布とした、た だし発生早く多発性傾向で れば早稲に準ずる。葉量を多 くせず均一に散布する。 ブラエスM剤は他作物の葉害に 注意し、散布時目に入らない 様に注意する。
中晩稲	八月中旬下旬	穂いち病	有機水銀剤 ブラエスM	液剤 一四〇—一九〇	注意し、散布時目に入らない 様に注意する。
中晩稲	七月—十月	夏ウンカ 秋ウンカ	EPN乳粉剤 マラソン乳粉剤 BHC粉剤	乳剤 一・〇〇〇倍 粉剤 三Kg	早期発見、早期防除
早中晩稲	六月—九月	クロカメムシ	BHC 粉剤 バイジット乳粉剤	粉剤三・〇％—三・四％ 粉剤二％ 乳剤一〇〇—一三〇	BHCは越冬虫のみに使用

右病害虫の他にネカラバエ、ダイメイチュウ等にも注意

一、防除についての事前準備

イ 部落ごとに良く話し合い防除計画及び組織をつくる、入作田を調査し防除組織を完

全にする

ロ 防除機具を整備する

ハ 播種及び植付を早中晩ごとにできるだけ統一しておく

ニ 苗代や飼料圃はできるだけ集団化する

ホ 防除期日はよく守り天候及び其の他やむを得ない場合の他は早期に実施する

ヘ 各病虫とも警報及び予想に注意

(註) ツマグロヨコバイのマラソン剤に対する抵抗性は本地区では後数年心配ないものと
思われるのでマラソン使用とした

